

# 「協同労働」の 多元的な価値と可能性を考える

～研究者と実践者の協同研究がはじまる②～

日時 2022年8月6日（土）13：30～16：30

場所 労協連本部8階会議室＋オンライン（ハイブリット開催）

参加費 無料



開催趣旨

この研究会は、6月25日に行われた総会記念フォーラム「『協同労働』の多元的な価値と可能性を考える～研究者と実践者の協同研究がはじまる～」の第2弾として行われます。

今年10月1日、労働者協同組合法が施行されます。協同総研の研究活動も新たな段階を迎え、その中心的なテーマである「協同労働」をより広く、より深く研究していくためには、研究者と実践者が共に参加する研究の場づくりが大切だと考えます。これまでも協同総研は、両者をつなぐ役割を担ってきましたが、今後さらに研究者と実践者をむすんだ協同研究を進めていくために、継続してこのテーマで研究会を行っていきます。今回は、協同総研の理事2名の方にそれぞれの研究分野（専門分野）と「協同労働」の接点、「協同労働」への関心などについてご報告いただき、それに対して、協同労働の実践者2名の方から一緒に研究したい・深めたいポイントについてコメントいただき、お互いの問題意識を出し合いながら両者の協同による研究活動の可能性を探っていきます。

登壇者

報告者

北出順子さん

福井大学准教授 / 公衆衛生看護学、歴史社会学が専門 「地域住民と保健師の協同関係」の解明に取り組む

川本健太郎さん

神戸学院大学准教授 / 社会福祉、社会的企業が専門 一般就労か福祉的就労の二分論を超え、企業と非営利法人のパートナーシップや社会的企業の組織化について実践レベルで推進・研究に取り組む

コメンテーター

川原隆哲さん

センター事業団常務理事北陸信越事業本部長 / 1997年入団。大学時代は農山村での労働者協同組合の実践を研究。東京では子育て支援、公共事業、最近では環境問題にも関わる。

小白井加代子さん

センター事業団理事北関東事業本部長

コーディネーター

走井洋一さん

東京家政大学教授 / 常任理事 / 教育学を専門とし、人間形成における社会性の形成とその支援、人間関係における協同性の生成とその持続をテーマに研究活動を行っている。主なフィールドは就労支援現場。

一般社団法人協同総合研究所

東京都豊島区東池袋1-44-3

池袋ISP タマリビル7F



T: 03 6907 8033

F: 03 6907 8034

E mail: kyodoken@roukyou.gr.jp

お申し込み

2022年8月4日（木）までに、

右のリンクからお申し込みください。

メールでも受付けております。

kyodoken@roukyou.gr.jp

ご不明な点等ございましたら、お気軽にお問い合わせください。

<https://forms.gle/CALkF5YGtjTeJjpy5>

